

**RESULT LIST**

0 results found in the Worldwide database for:

**JP4919191** (priority or application number or publication number)

(Results are sorted by date of upload in database)

---

Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

**JP 49-19191** discloses a method for improving stain resistance of a cloth by applying a solution containing a stain blocker. Tannic acid and a sulphonated phenol-or naphthol-aldehyde condensation is exemplified as the stain blocker in the eight publications. A combination of the two compositions is not described.



(2,000円)

特 許 局

昭和47年6月16日

特許庁長官 殿

1 発明の名称

点描染色用色糊の製造方法

2 発明者

住所 京都市東山区山科東野百拍子町ノ3053

氏名 鹿 野 吾 朗 (ほかノ名)

3 特許出願人

住所 京都市東山区山科西野鹿野町29番地

名称 株式会社 松井色染化学工業所

代表者 松 井 幹 雄

4 代理人 甲 530

住所 大阪市北区横上町64番地大三ビル

伊藤特許事務所

電話 大阪(06)363-2745番

氏名 (6994) 弁護士 伊 藤 隆 宣

明 細 書

1 発明の名称

点描染色用色糊の製造方法

2 特許請求の範囲

分散染料をポリビニルアルコール水溶液に分散させ、次にポリビニルアルコールと相溶しない染料水溶液を加えて2相に分離させ、この2相中にアニオン性、多価フェノール類または強化フェノール類水溶液を添加・混合し、次いでよく攪拌しながら固液または高濃度を添加して液中に色素粒子を凝固させ、所望にして得られた色素粒子のノ色または2色以上を元糊中に散在させることを特徴とする、点描染色用色糊の製造方法。

3 発明の詳細な説明

本発明は、合成繊維布に点描模様を顕現させることができる染色用色糊の製造方法に関するものであり、その主たる目的は、本発明の染色用色糊を用いることにより、布面上に種々の色彩の小点を構成要素とする集合により模様を

顕現させ、視覚中での色混合により染色模様の精細効果、多彩効果及び立体的効果を発揮させることにある。

従来、染色用色糊は染料又は顔料を元糊中に均一溶解または均一微分散させたもので、その色糊で染色された布面の部分は面積を有する均一なノ色としてあらわれ、また2色以上の染料または顔料を配合をした色糊を用いても、その色糊で染色された布面の部分は均一に混合されたノ色としてあらわれた。霜降または多彩の点描模様を布面に印染させるためには色数に応じた数種の色糊を調製し、点模様彫刻された染色型版を色数と同じ細数用意して点描染色しなければならなかった。

本発明等では通常使用されている染色型版にて点描染色できる色糊を種々検討の結果、元糊中にノ色の色素粒子または2色以上の色素粒子を個別に散在させた色糊を用いることにより、点模様の彫刻型版でなく面積有る模様を彫刻した染色型版ノ個で多彩な点描染色ができること

①9 日本国特許庁

## 公開特許公報

①特開昭 49 19191

④公開日 昭49.(1974) 2.20

②特願昭 47 60852

②出願日 昭47.(1972) 6.16

審査請求 有 (全7頁)

庁内整理番号

⑤日本分類

6859 47 48 B202